

市民の皆さまへ

市庁舎整備の

(ミップルビルへの移転集約)

基本計画がまとまりました

市民の皆さまのお声をお聞かせいただき検討を進めてきた市庁舎整備について、このほど基本計画がまとまりましたので、その内容をお知らせします。

なお、市としては、この計画を実行するかどうかをしっかりと検討している段階です。

市民に開かれ 海に開かれた

宮津の窓

となる庁舎

新庁舎基本コンセプト



5つの
コンセプト

Concept[†] 災害にも強く、安全・安心を確保する庁舎

Concept[†] 利用しやすく親しみのある庁舎

Concept[†] シンプルで経済的な庁舎

Concept[†] 機能的な庁舎

Concept[†] 宮津らしさのある庁舎

市庁舎整備基本計画の概要

▼ミップルビルを市が所有し、商業機能と行政機能の複合施設とします。

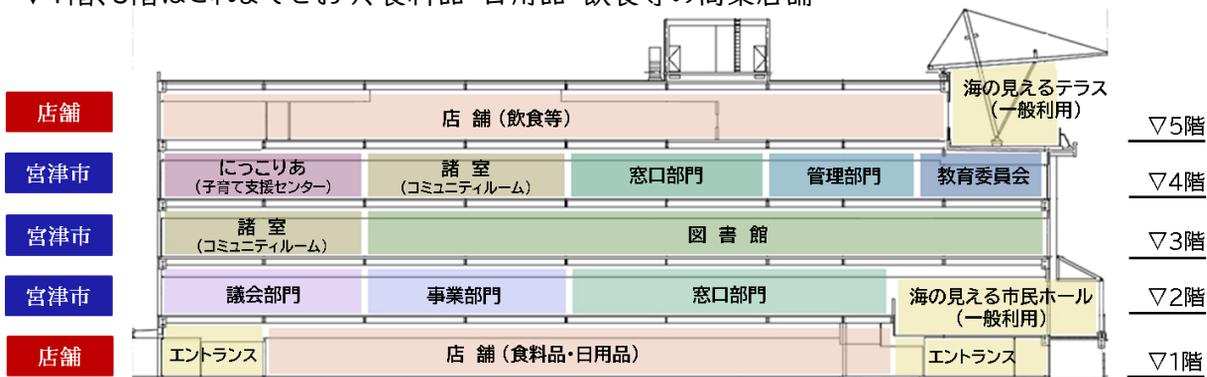
▼2～4階は行政機能とします。

・2階は行政使用とし、議会や窓口部門等を配置します。

・3階はこれまでどおり図書館等を配置します。

・4階はこれまでどおりとし、一部配置する部局を変えます。

▼1階、5階はこれまでどおり、食料品・日用品・飲食等の商業店舗



1階 変更なし

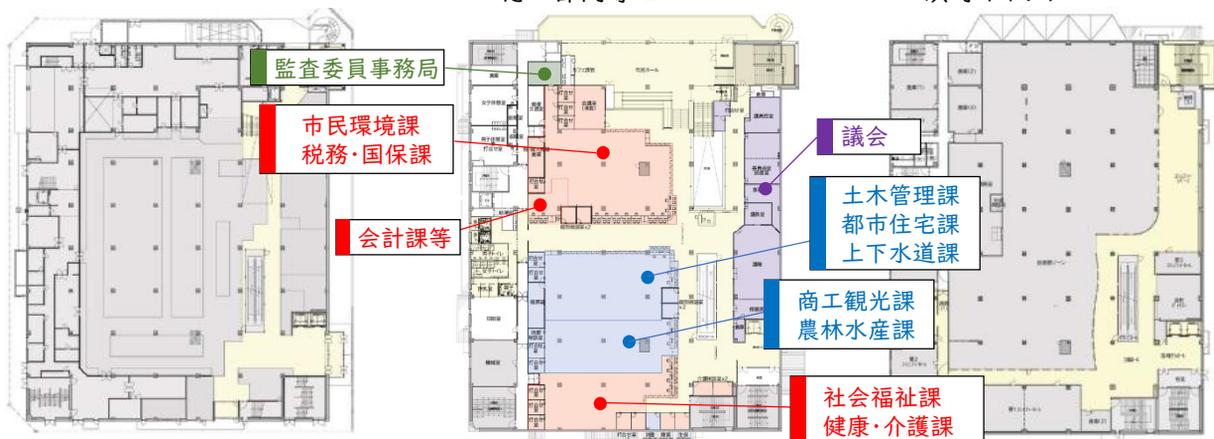
- ・食料品、日用品、店舗など
- ・出入口は全て共用

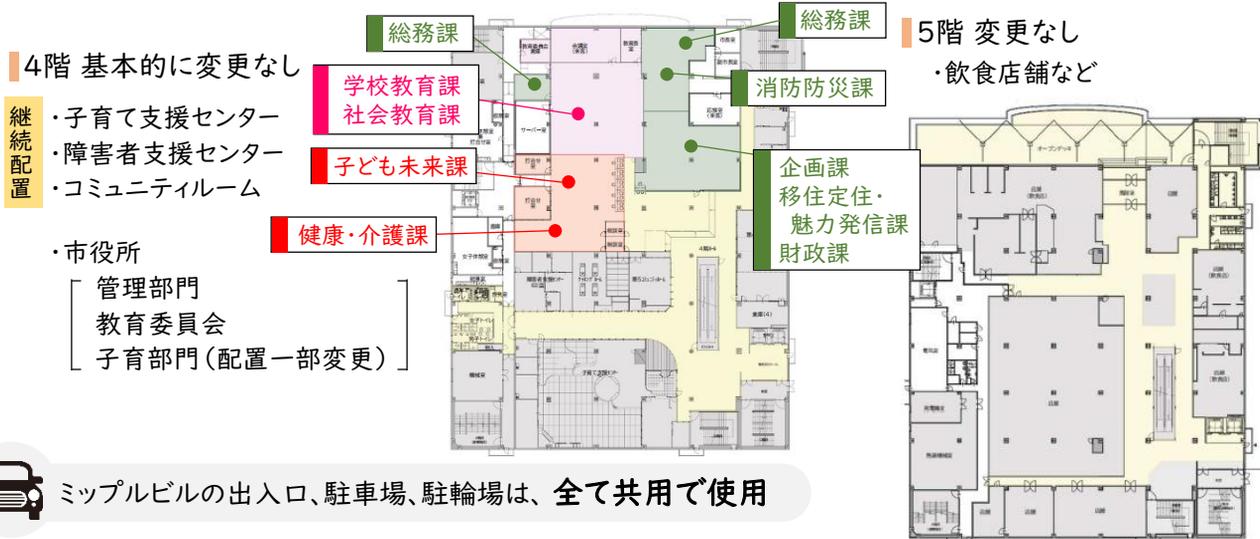
2階 行政使用に変更

- 市役所
 [議会部門
 窓口部門等]

3階 変更なし

- ・図書館
- ・コミュニティルーム
- ・浜町ギャラリー





ミップルビルの出入口、駐車場、駐輪場は、全て共用で使用



事業計画では、概算事業費は24.2億円、移転完了は令和10年秋の予定としています。

よくあるご質問



Q そもそもなぜ庁舎整備をしなくてはならないの？

本館・別館等の老朽化、耐震不足などのほか、庁舎分散やエレベータ未設置など市民サービスにも影響があり、先送りできない課題です。



Q 将来負担は少なくしてほしい。

将来負担を抑制するため、簡素で経済的な改修とします。また、庁舎整備に向けて基金の積立てを行っています。



Q ミップルビルは海沿いの建物。津波被害は大丈夫なのか。

ミップルビルの建物位置の想定津波浸水深は、最大で0.3m未満で、1階部分は影響が想定されるが、2階からの庁舎機能には影響はありません。



Q ミップルビルは埋立地にある。地震の場合、土地が液状化するのではないか。

液状化の可能性はありますが、ミップルビルの建物は支持地盤まで杭を打ち込むなど耐震対応しており、建物への影響は極めて低いです。



Q 現在の本庁舎は、今後はどのようにされるのか。

ミップルビルへの庁舎移転集約が確定した以降に、検討を始めていく予定としています



Q 市庁舎が移転すると2階の売り場がなくなる。

事業者の経営判断となりますが、市民の皆さまからのご意見を踏まえ、市としても買い物利便が大きく損なわれることのないよう要望しています。



Q 建物を改修工事する際、店舗は営業するのですか？

店舗の営業は続ける形で、改修工事を進めることとしています。



詳しい内容や
検討の経過(市HP)



庁舎整備に関して、
ご意見をお聞かせください。

